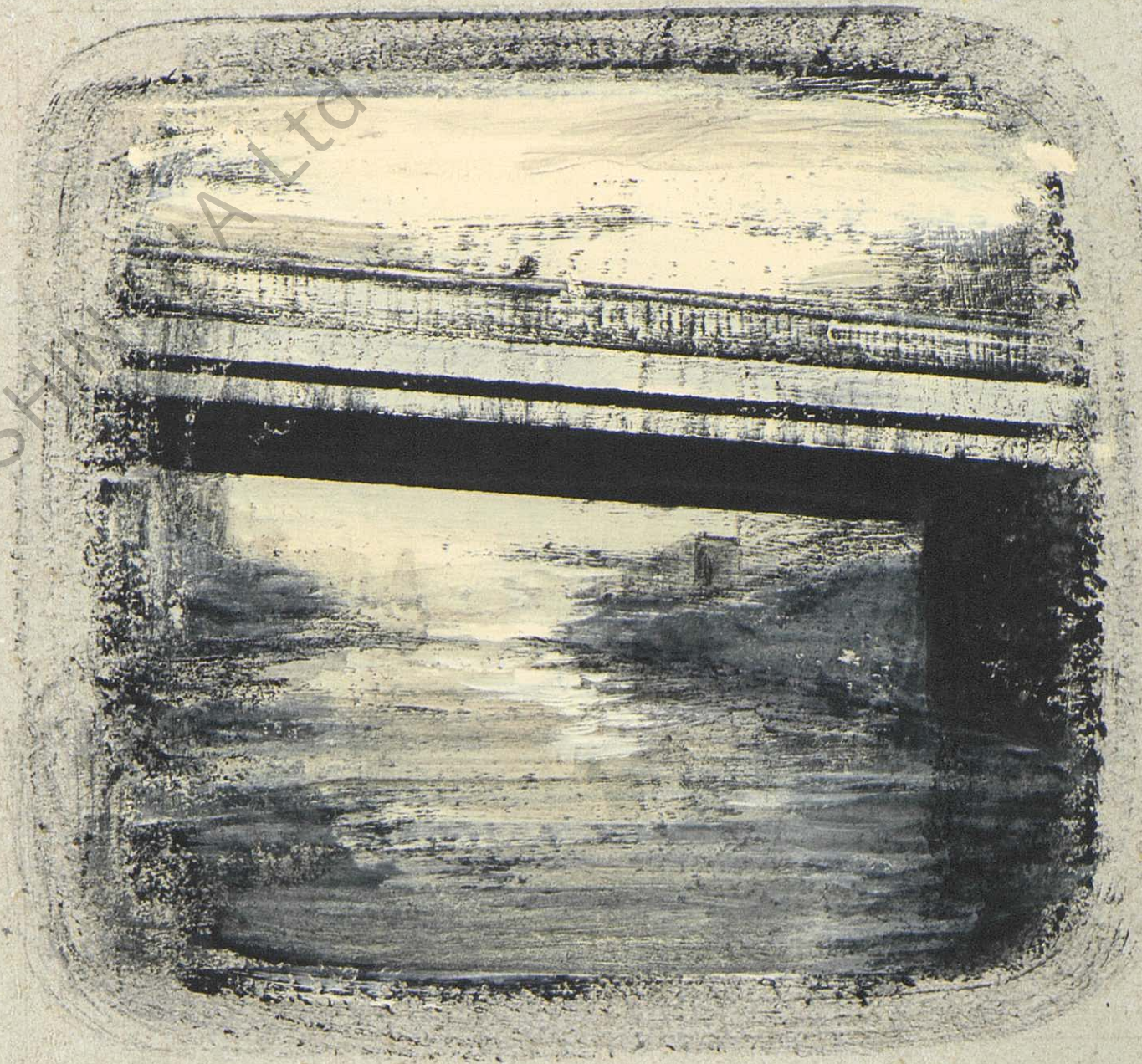
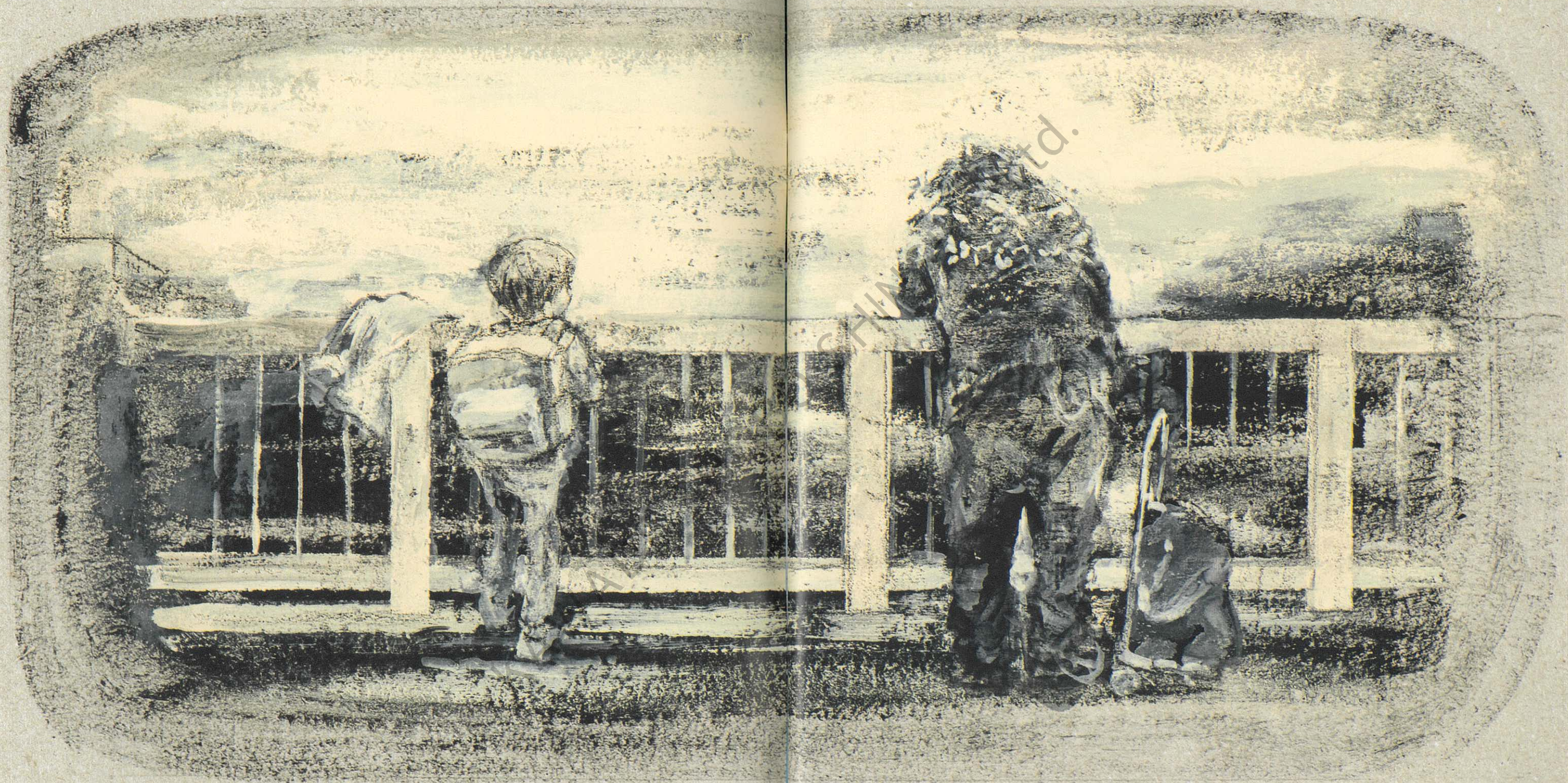


橋^{はし}の上^{うへ}で川^{かわ}を見^みていた夕方^{ゆうがた}、
雪柄^{ゆきがら}のセーター^きを着^きたおじさんが
いつのまにか、ぼくのとなりに立^たっていた。





どこからやってきたんだろう。

セーターはふるくて毛糸^{けいと}がかたそうで、

何年^{なんねん}も何十年^{なんじゅうねん}も、脱^ぬいだことがないみたいに見えた。



川が好き？

おじさんがぼくにそうきいた。

はいいろの、さらさらした石みたいな声で。

べつに。見てただけ。

じゃあ、橋が好きなの？

べつに。ただいるだけ。



ほんとは^{かんが}えてた。

いまここから^{かわ}川にとびこんだら、
どうなるだろうって。

